

# まちのニュース

## 長年の功績が認められ春の叙勲に輝く

国や地方の発展などに功績のある人を顕彰する19年春の叙勲の受章者が、4月29日に発表されました。

本市からは、高橋富男さんが旧西根町助役などとして地方自治の発展に尽力した功績

が認められ、瑞宝双光章を受章。松尾勇さんが統計調査員として長年にわたり国勢調査など各種統計調査に従事した功労が認められ、瑞宝單光章を受章しました。おめでとうございます。



まつおいさみ  
松尾 勇 さん  
(76歳・松尾)

松尾さんは、昭和27年に農林業統計調査員に任命されて以来、国勢調査に連続11回従事。45年にわたり、通算62回の各種統計調査に当たり、行政施策の基礎資料充実に貢献しました。市統計調査員協議会の副会長として、他の調査員の模範となっています。



たかはしとみお  
高橋 富男 さん  
(71歳・大更)

高橋さんは、昭和31年に旧平館村役場で採用。旧西根町役場で税務課長、総務課長などを経て西根町収入役、平成8年から西根町助役として7年間勤めました。在職中は福祉の向上や観光振興、農産物販売、防災基盤の整備などに尽力しました。



開会式で森瑛梨奈さん(田)が参加して行きました。



沿道の声援を背にゴールを目指しました

## 新緑の季節を駆ける健康マラソン大会

号砲とともにスタートを切る参加者

号砲が鳴り響く中、2キロとファミリーペースのコースで、健脚を競いました。

年齢や体力に応じて設定された2、3、5キロのコースで、家族アの部門から一斉にスタート。沿道やゴール前では、家族や市民からの声援を後押しに、自己ベスト更新などを目指し、風のようにコースを駆け抜けました。

参加者は、新緑の中を楽しみながら快走し、心地よい汗を流しました。

安代地区住民の体力増進と親ぼくを図ることを目的に、第37回安代地区健康マラソン大会と第19回安代地区親子マラソン大会は5月13日、安代若者センターを発着点に約80人が参加して行わ

山小5年)が「最後まであきらめずに走り抜きます」と宣誓。

## 地域を照らす思いやりのともしび寄贈

東北電力株式会社盛岡営業所（岡信慎一所長）と株式会社ユアテック盛岡営業所（阿部正徳所長）は5月10日、市に街路灯10灯を寄贈しました。

贈呈式で岡信、阿部両所長は「明るく住みよいまちづくりに役立てほしい」と述べ、田村正彦市長に街路灯10灯と取り付け工事一式の目録を手渡しました。両営業所では、これまでに350灯の街路灯を市に寄贈しています。



お団子作りを通して、地域とのふれあいを深めました

### みんなで作るヨモギ団子はおいしいな

世代を超えて地域住民との交流を深めようと、安代小学校で5月16日にヨモギ団子作りが行われました。地域住民10人を講師に招き、2年生の22人が指導を受けながら挑戦。ほとんどの児童が初めての経験でしたが、「おいしい団子ができました。」と語りながら、おいしくなった」と語りながら、おいしくなった」と語りました。児童は「お団子に入れるのが、とても楽しかった」と語りました。児童は「お団子をおぱりました。



田村市長に目録を手渡す岡信所長（中央）と阿部所長（右）

5月22日に市内の病院や福祉施設などを訪問し、スズランの花を贈る慰問活動を行いました。

児童が校庭の花壇で栽培したスズランを「早く元気になつてください」と患者や施設入所者を励ましたながら手渡しました。

この活動は、同校の森林愛護少年団活動の一環で行われている恒例の行事で、昭和37年から続いています。

## 思いやりの心ではぐくむスズランの花



スズランの花を贈る渋川小学校の児童

## バイパス早期完成を目指し協議会設立



西根バイパス第2期工事の早期完成を誓いました

国道282号西根バイパス整備促進協議会は5月10日、平館公民館で設立総会を開きました。設立総会には、関係者など25人が出席。事業計画などが承認されたほか、会長に工藤弘光さん（堀切）を副会長に田村憲一さん（平館）、府金一宏さん（平館）をそれぞれ選出しました。協議会では、同バイパスの早期完成を目指して地権者の窓口となり、円滑な協議を進めていきます。

## 看護体験で、看護の心をみんなの心に

医療や看護に理解を深めてもらおうと国保西根病院は5月10日、ふれあい看護体験を行いました。

平館、盛岡中央、盛岡市立、

盛岡北の4校から、いずれも市内に住む生徒10人が参加。

生徒は白衣に身を包み、入院患者の手足を洗つたり、つめを切るなどしながら会話をして、

患者を元気づけました。生徒は「笑顔が嬉しい。将来は福祉関係の仕事に就きたい」と決意を新たにしました。



さまざまな問題の相談を受け付けました

生徒は「笑顔が嬉しい。将来は福祉関係の仕事に就きたい」と決意を新たにしました。



患者と会話を弾ませながら、思いやりの心を学びました

## 合同行政相談で疑問・質問何でも解決

5月23日に西根地区市民センター大ホールで、国や県など9つの関係機関が一堂に会して、合同行政相談を行いました。

これは道路や税金、国民年金など、行政が行っている仕事について困っていることや疑問に思っていることなど、さまざまな相談を受け付け、解決しようというものです。当日は多数の相談者が訪れ、登記のことなど27件の相談が寄せられました。



お母さんへの感謝の気持ちを込めて作る子どもたち

## 広大な牧野で食べる草は「モー」最高

岩手山のふもと約100ヘクタールに広がる上坊牧野にトラックで運ばれた約200頭の牛たちは、体重測定をしてきれいに体を洗つてもらつた後、広々とした草地へと放牧され、おいしそうに草をはんできました。

放牧は、牛の育成と畜産農家の作業省力化などを目的に11月ごろまで続きます。



上坊牧野に放牧された牛たち

## 母の日に感謝を届けるアレンジメント

母の日に、お母さんへ日ごろの感謝の気持ちを伝えようと、5月12日に荒屋公民館でスponジ製の土台に造花などを差し込んで、思い思いのアレンジメントを作成。「いつもありがとうございます。これからもスポーツや勉強をがんばりまます」など、感謝の気持ちをいっぱいに込めたメッセージカードを添え、お母さんにプレゼントしました。

5月11日の上坊牧野を皮切りに、市内各地の牧野で放牧が始まりました。

岩手山のふもと約100ヘクタールに広がる上坊牧野にトラックで運ばれた約200頭の牛たちは、体重測定をしてきれいに体を洗つてもらつた後、広々とした草地へと放牧され、おいしそうに草をはんできました。

## 黄色い羽根に願いを託し交通安全啓発

5月11日から20日までの春の全国交通安全運動の一環で、岩手警察署、市交通安全協会、市は交通安全啓発活動を行いました。

14日には、市内の小学校周辺など13カ所の街頭で、登校中の小中学生や通勤者などに

「おはようございます」とあいさつしながら黄色い羽根を配布し、自転車の乗り方など、交通マナーを守るよう呼び掛けました。

また、17日のあしろ保育所畠分園を皮切りに、市内の保育所で交通安全教室を行い、

信号機の見方や道路の歩き方などを楽しく学びました。



↑交通量の多い大更地区の上町交差点では、田村正彦市長や吉田聖岩手警察署長らが街頭で啓発活動を行いました

←東慈寺保育園など、市内の保育所で交通安全教室が行われました

## 八幡平地域で地熱発電の可能性を探る



地熱発電調査のために行われている掘削作業

5月7日には、関係者などで構成する地熱発電事業化検討委員会(委員長・新妻弘明東北大大学院教授)で検討。可能性が高ければ、第3セクター方式で事業化し、売電と公共施設での利用を計画しています。

約30人が出席して調査掘削工事の安全祈願祭が八幡平ロッヂで行われました。式典で田村正彦市長は「地元としても、この事業に大変期待しています。成功の暁には、热水の多目的利用など、産業振興の可能性を検討したい」とあいさつ。出席者は工事の無事と事業の成功を祈願しました。



工事の安全と事業の成功を祈願しました